



メディアの寵児！今、日本で最も注目を集める専門家が
飛騨高山で『令和・米騒動の真実』を暴く－

演題「どうする、どうなる日本の食料自給率」

食料安全保障の第一人者
東京大学特任教授

鈴木 宣弘
すずき のぶひろ

1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。2024年4月から同特任教授。食料安全保障推進財団理事長を兼務。FTA産官学共同研究会委員、食料・農業・農村政策審議会委員、財務省関税・外国為替等審議会委員、経済産業省産業構造審議会委員、コーネル大学客員教授などを歴任。日本の食料安全保障問題の第一人者として食料危機への対応を訴え続ける。『食の戦争』『農業消滅』『世界で最初に飢えるのは日本』『マンガでわかる日本の食の危機』『このままでは飢える！食料危機の処方箋』『国民は知らない「食料危機」と「財務省」の不適切な関係』等、著書多数。現在コメンテーター／解説者としてもテレビ番組で活躍中。

TALK SESSION



食料危機は、すぐそこ？ 講師・鈴木宣弘氏と
第一線で活躍するプロが、衝撃の未来予想図を討論！

トピック「食と環境・食料自給率の未来」



益田 大輔
ますだ だいすけ
須田病院 精神科医長

実行委員長

●1974年、福岡県で生まれる。愛媛大学医学部卒業後、岐阜大学病院精神科に勤務。2001年から高山赤十字病院心療内科、2005年から特定医療法人生仁会須田病院にて勤務し食べ物と精神の関連について研究。現在、高山市議会議員でもある。



今井 隆
いまい たかし
株式会社龍の瞳 代表取締役

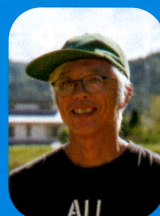
発起人

●1955年下呂市生まれ。農林水産省に入省し、統計情報業務を遂行。44歳で「龍の瞳」原種を発見し、51歳で退職、起業する。安全で美味しい米づくりを追求して、米コンテストで龍の瞳生産者が多数賞歴している。現在、地域の活性化のために行動をしている。お米の業界紙「商経アドバイス」に執筆中。日本ペンクラブ会員。



野田 沙希
の だ さ き
匠こめ由（株式会社米由代表取締役）

●創業120年以上に渡るお米屋「匠こめよし」を経営する4代目。全国のコンクール審査員として鑑定にかけ、東海初の女性五つ星お米マイスターProf.として、発酵のプロとして、お米・発酵食品についてのセミナーを開催。プロ目線はもちろん、3人の子供を育てた経験を活かし、主婦、母目線でお米の選び方、炊き方などをアドバイスしている。



佐野 朋之
さ の ともゆき
サノライズ 代表

●稲作農家。2015年に東京から岐阜県飛騨市に移住、「自給自足」の思いから田畑を始める。長野県の自然耕塾にて農業・化学肥料不使用の米作りを学び、現在も実践している。現在は高山市で米と大豆を栽培し、自家製味噌作りワークショップを各地で開催、日本の伝統的な食文化・発酵文化の素晴らしさを伝えている。

DISCUSSION

出演者は予告なく変更する場合がございます

第4回 食・環境・食料自給率 沈黙の春63年後の現実
トークセッションin飛騨世界生活文化センター

日時

6月14日 土 開演 13:30 ~ 終演 16:20
途中休憩 10分 (開場 12:30)

料金

料金：全自由席 1,200円

要事前申込 オンラインチケット制

●クレジット支払 ●コンビニ支払 (要会員登録)



場所

飛騨・世界生活文化センター
〒506-0032 岐阜県高山市千島町900-1
飛騨芸術堂ホール(1F)



google MAP

バス ●JR高山駅東口(乗鞍口)濃飛バスセンター
「さるぼぼバス(まつりの森経由※)」で約18分
※まつりの森を経由しない「さるぼぼバス」は当センターに
停車しませんのでご注意ください。

